

受賞の報告

〈第8回日本禁煙学会雑誌優秀論文賞〉

今回の優秀論文賞は、日本禁煙学会雑誌第17巻3号と4号、第18巻1号～3号に掲載されました原著論文7編から、編集委員の採点により、以下の論文に決定しました。第17回日本禁煙学会学術総会の閉会式で発表し、中澤 広 様には、表彰状と額を送付いたしました。

中澤 広、吉川麗子、米本直裕、高橋尚子(ファイザー株式会社)

第17巻3号

「初回禁煙治療が長期禁煙維持に及ぼす効果 — 定期健康診断と診療報酬データによる後ろ向き研究 —」

http://www.jstc.or.jp/uploads/uploads/files/journal/gakkaisi_221107_29.pdf

チャンピックスを発売しているファイザー社の研究です。初回禁煙治療が、長期禁煙維持に有効であるという論文です。禁煙治療を続けている日本禁煙学会の会員にとっては、勇気づけられる内容です。

〈第7回繁田正子賞報告〉

長年にわたり喫煙防止教育や後進の育成に情熱を捧げられた(故)繁田正子先生の遺徳を偲び、次世代を担う若者によるタバココントロール研究・調査および活動を奨励する目的で、2017年5月に日本禁煙学会繁田正子賞(Shigeta Masako Young Investigator Award; SMYIA)が設立されました。第17回学術総会(横浜大会)は、11月11日・12日を中心にハイブリッド形式で行われ、第7回繁田正子賞セッションは、11日12:00～13:00(座長:松浪容子、津谷隆史)に6演題の発表があり、活発な質疑応答が行われました。審査委員で協議の結果、最優秀賞、優秀賞に以下の3演題が選ばれ、12日の閉会式で田淵貴大副審査委員長から審査結果が発表され、作田 学理事長から表彰されました。

◎最優秀賞

野村由実氏(千葉工業大学 創造工学部教育センター)

「周産期異常を合併した女性における喫煙リスク状態に対するリスク要因」

◎優秀賞(二席)

紅谷 歩氏(タバコ問題を考える会・千葉)

「千葉県知事・県内市町村首長を対象とした、不法投棄された吸い殻についての取り組みに関するアンケート調査結果」

◎優秀賞(三席)

吉田葉月氏(株式会社日立製作所 日立健康管理センタ)

「3つの依存に着目した禁煙支援の効果の検討—ヘルスリテラシーの向上を目指して—」

今後も繁田正子賞がより多くの応募を得て、さらに充実した内容となり、若手タバココントロール研究者や活動家の登竜門となることを期待しています。

〈第5回草の根活動賞〉

神奈川県学術総会の草の根活動セッションでのご発表を含め、最終的に下記の3題を優秀賞とさせていただき、賞状と副賞をお送りしました。今後の更なるご発展を祈念し、また禁煙会誌へのご投稿も期待しております。

◎優秀賞

阿部まゆみ様

「分譲マンションにおける受動喫煙被害対策としての管理規約細則の改訂経緯」

◎優秀賞

齊藤智恵理様

「たばこ販売組合等への補助金等の交付に関する状況調査及び茨木管内たばこ税連絡協議会の解散について」

◎優秀賞

川合厚子様(公徳会トータルヘルスクリニック)

「イエローグリーンキャンペーンは連携と協働のツール」